

《プロジェクト名 ぶどう栽培と羊放牧を組み合わせた低コスト循環型農業による高品質ワイン製造と地域ブランドの創造》

市町村	南陽市	対象地域	南陽市赤湯地区	分野	園芸、畜産、農林水産物の加工（園芸）
実施主体名	有限会社酒井ワイナリー	代表者氏名	酒井又平	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	南陽市赤湯980 (0238-43-2043)
実施主体構成	法人				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	72,610千円（18,724千円）				
	独自の目標項目	ぶどう畑栽培面積1.4ha→5.0ha 耕作放棄地3.6ha→0ha 飼育羊頭数3頭→30頭				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
	産出額	53,886千円	54,940千円	57,340千円	62,840千円	69,340千円
	独自の目標項目	①ぶどう栽培面積1.4ha ②羊飼育頭数 3頭 ③耕作放棄地 3.6ha	①2.0ha ②4頭 ③3.2ha	①5.0ha ②10頭 ③2.3ha	①5.0ha ②30頭 ③1.3ha	①5.0ha ②30頭 ③0.3ha
プロジェクト概要	◎実施方針	拡大する耕作放棄地を有効利用し、地域再生を図るとともに、羊飼育とぶどう栽培を組み合わせた循環型農業の確立と地域特産物のブランド化を目指す				
	○産出額の増大	県内外よりその高品質が注目されている醸造用ぶどうとワインの生産拡大とワイン普及に伴う羊肉需要を見込んだ羊肉生産 ぶどう546千円→6,000千円 羊 0円→3,270千円 ワイン53,340千円→63,340千円				
	○雇用の創出	1名（365人日）				
	○創意工夫	ぶどう畑で羊の放牧を行い、除草の労働力を削減し、且つ観光資源として活用。ワイン搾りかすを与えた羊肉とその畑のワインによる地域のブランド化				
	○実現性	羊の放牧を3年行い、高い除草効果を確認。地元旅館などの羊肉への期待は高い。県産醸造用ぶどうの品質は高く、近年そのワインは注目を集めている				
	○地域への波及効果 ○その他	耕作放棄地の減少と、ぶどう畑と羊の放牧の組み合わせにより観光客誘致。高級ワインの産地としての認知度上昇 長い歴史と特異な眺望を持つ鳥上坂周辺のぶどう畑の景観を回復させワインツーリズムの定着を図る				

事業計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
	事業内容	①耕作放棄地、新規農地の整備②ワイン醸造設備の導入	①耕作放棄地・新規農地の整備、ぶどう苗木導入②羊導入